

1年 美術科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>【A 表現】</p> <p>〈絵や彫刻〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 <p>〈デザインや工芸〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光、などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 <p>【B 鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 	<p>【A 表現】</p> <p>〈絵や彫刻〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、創造したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 <p>〈デザインや工芸〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練っている。 <p>【B 鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考え、見方・感じ方を広げている。 	<p>【A 表現】</p> <p>〈絵や彫刻〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 <p>〈デザインや工芸〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。 <p>【B 鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子
カット イン ク ポ イ ント	<p>90～100%・・・「5」</p> <p>80～90%・・・「4」</p> <p>50～80%・・・「3」</p> <p>20～50%・・・「2」</p> <p>0～20%・・・「1」</p>	<p>それぞれの観点別評価は原則として</p> <p>「A」・・・80%以上</p> <p>「B」・・・50%以上</p> <p>「C」・・・50%未満</p>	

2年 美術科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	<p>【A 表現】</p> <p>〈絵や彫刻〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果を理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 <p>〈デザインや工芸〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果を理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 <p>【B 鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 	<p>【A 表現】</p> <p>〈絵や彫刻〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、協調、材料の組み合わせを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 <p>〈デザインや工芸〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使う目的や条件などを基に、使用するものの立場、社会とのかかわり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 <p>【B 鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特性から、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えて、見方や感じ方を深めている。 	<p>【A 表現】</p> <p>〈絵や彫刻〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 <p>〈デザインや工芸〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。 <p>【B 鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子
カッ テ ィ ン ク ゝ ホ ィ ト	<p>90～100%・・・「5」</p> <p>80～90%・・・「4」</p> <p>50～80%・・・「3」</p> <p>20～50%・・・「2」</p> <p>0～20%・・・「1」</p>	<p>それぞれの観点別評価は原則として</p> <p>「A」・・・80%以上</p> <p>「B」・・・50%以上</p> <p>「C」・・・50%未満</p>	

3年 美術科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>【A 表現】</p> <p>〈絵や彫刻〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光、などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 <p>〈デザインや工芸〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光、などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 <p>【B 鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 	<p>【A 表現】</p> <p>〈絵や彫刻〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、協調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 <p>〈デザインや工芸〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。 <p>【B 鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特性などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 	<p>【A 表現】</p> <p>〈絵や彫刻〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 <p>〈デザインや工芸〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。 <p>【B 鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子
カット イン ク ポ イ ント	<p>90～100%・・・「5」</p> <p>80～90%・・・「4」</p> <p>50～80%・・・「3」</p> <p>20～50%・・・「2」</p> <p>0～20%・・・「1」</p>	<p>それぞれの観点別評価は原則として</p> <p>「A」・・・80%以上</p> <p>「B」・・・50%以上</p> <p>「C」・・・50%未満</p>	